

坂ノ市地区

(大分県大分市)

計画期間 平成 16 年度～20 年度
 面積 214.6ha
 交付対象事業費 710.5 百万円
 市人口 475,233 人(地区内人口 7,127 人)

ポイント

万弘寺広場と隣接する公園、歩行者専用道路を一体的に整備し伝統文化の発展継承と魅力空間の創出を図る。

地区概要

公園や緑地、万弘寺広場、駅前広場の整備を行い、地域の交流と憩いの場を創出し、賑わいのあるまちづくりを図る。

目 標

万弘寺を中心とする伝統的歴史的文化の発展継承と地域の交流の場の創出、地区の顔づくりと快適で安心して利用できる歩行空間の創出、人口定着のための宅地利用促進と賑わいの復活を目指す。

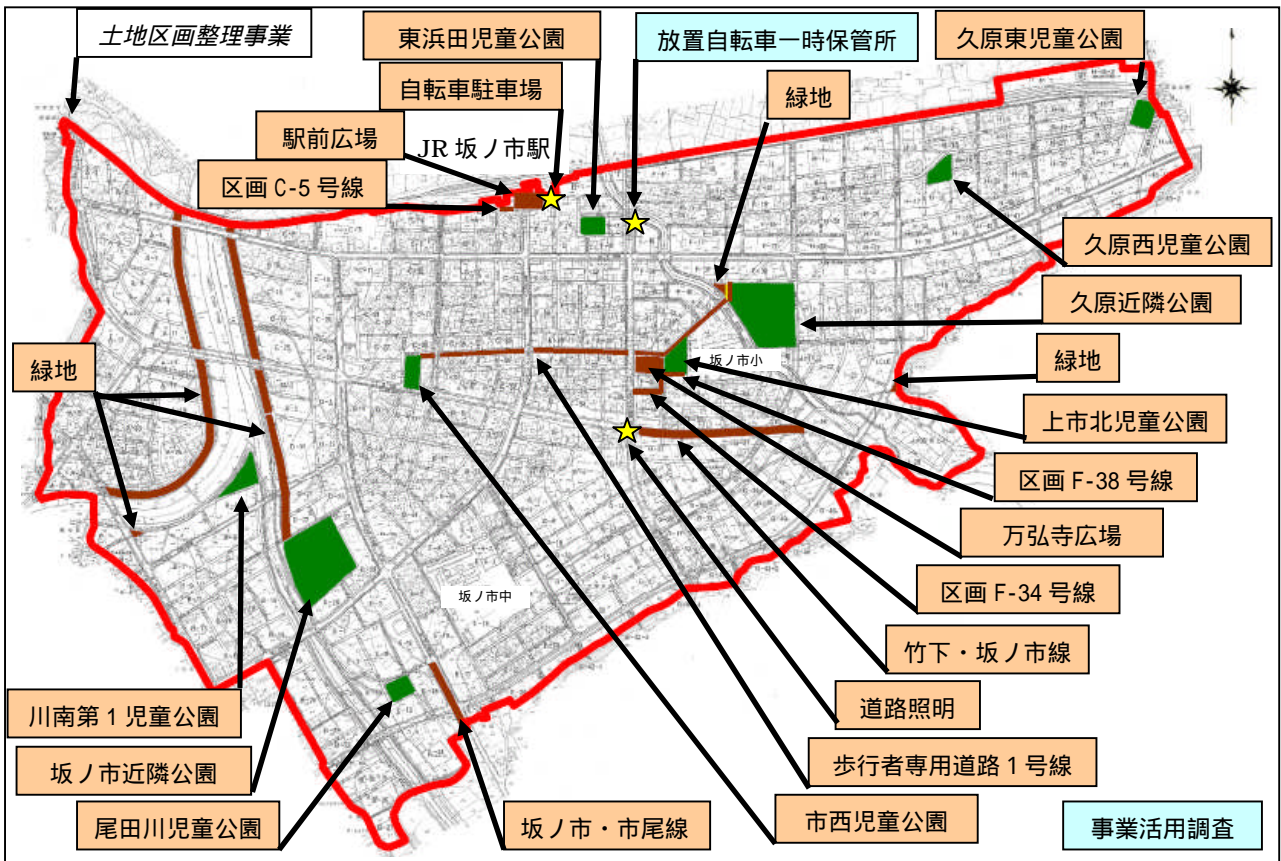
指 標

公園や広場、歩行者専用道路を整備することにより快適で安心な町をつくり、人口の定着化と賑わいの復活を目指し、駅利用者数や万弘寺の市来客数、地区住民の満足度の増を目標とした。

駅利用者	2,100 人/日 (H15)	2,700 (H20)
来客数	60,000 人/週 (H15)	80,000 (H20)
商業床面積	2,140 m ² (H15)	2,700 (H20)
満足度	- ポイント (H15)	3.5 (H20)

事業内容

- 基幹事業 (706.0 百万円) ・道路 (幅員 6.0m、延長 168m) ・公園 (9ヶ所、52,014 m²) ・緑地 (5ヶ所、19,514 m²) ・広場 (1ヶ所、3,341 m²) ・自転車駐車場 (1ヶ所、500 m²) ・歩行者専用道路修景 (幅員 6.0～11.0m、延長 697m) ・駅前広場修景 (1ヶ所、3,000 m²)
 ・道路植栽 (2 路線、延長 520m) ・道路照明 (4 基)
- 提案事業 (4.5 百万円) ・放置自転車一時保管所 (1ヶ所、280 m²) ・事業活用調査



地区の現況と課題

坂ノ市地区は、豊後三大市の1つで、1400年の伝統がある「万弘寺の市」を持つ歴史のある町であり、また、新産都2期計画の背後地整備として昭和53年度より土地区画整理事業に取り組んでいます。

しかし、産業構造や交通機関分担の変化によって近隣地区との商業集積格差の拡大、地元商店街の分散化、地区内人口の伸び悩み、高齢化の進展、地域の「顔」の欠如等が問題となってきました。

また、近年の価値観の多様化などから、機能性や利便性に加えて、質的な満足感、心の充足が果たされるような個性化・文化志向化などとともに、ゆとりや潤いを重視した魅力あるまちづくりが求められるようになってきました。

基幹事業の特徴

道路

幅員6.0mの区画道路を3路線、延長168m築造した。

公園

9ヶ所の公園整備を行ない、地域交流の場を造り、うち2ヶ所の近隣公園の整備計画は、地区住民によるワークショップにより検討を行なった。

地域生活基盤施設

5ヶ所の緑地、駅前の自転車駐車を整備し、また、万弘寺広場は、より魅力のあるものにするために隣接する上市北児童公園と歩行者専用道路を一体的に整備した。

高質空間形成施設

歩行者専用道路と駅前広場の修景と街路樹の植栽を行い、快適で安心な歩行空間を造った。

提案事業の特徴

放置自転車一時保管所

自転車駐車場の有効利用を図るため、放置自転車の一時保管所を整備した。

計画策定プロセス

地元協議会との協議

平成13年度に、万弘寺の市保存会、自治会、PTA、地域おこしグループ、商工会等から12名による「坂ノ市まちなみデザイン協議会」を立ち上げ、ワークショップや議論を重ね、まちづくり総合支援事業の事業計画(案)を住民と行政の協働で作成し、平成16年度にまちづくり交付金へ移行にあたり都市再生整備計画に反映させた。



久原近隣公園



・万弘寺広場・上市北児童公園
・歩行者専用道路



JR坂ノ市駅前広場



ワークショップ



放置自転車一時保管所